

事務事業名	コミュニティ・スクール運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	コミュニティ・スクールの充実		公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 地域学校協働活動(学校支援ボランティア、地域学校協働活動本部会議)、学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者や地域住民等が児童生徒や教育活動に積極的に参画してほしい。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 子どもたちの学びや体験が充実するとともに、地域の人と人のつながりも深まり、持続可能な町づくりにもつながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① ボランティア実施回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① ボランティア登録者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① ボランティア参加人数	人
② 地域学校協働本部会議の開催	回
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 地域学校協働活動に参加した学校数	校
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					1,076,000
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					781,000
		一般財源	円	0	0	0	0	6,618,000
	事業費計(A)		円					8,475,000
	人件費	正職員従事人数	人					
人工数(業務量)		人工						
人件費計(B)		円	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A+B)		円	0	0	0	0	0	
活動指標	①	回						
	②							
	③							
対象指標	①	人						
	②							
	③							
成果指標	①	人						
	②	回						
	③							
上位成果指標	①	校						
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 コロナ禍での地域学校協働活動の実施。地域学校協働活動の町民への認知度向上及び、学校支援ボランティアの活動の充実。学校とCSコーディネーター、地域と学校との関係づくり。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 新型コロナウイルス感染防止対策を講じての地域学校協働活動の実施(オンラインも活用)。ハンドブックを活用し、町内会やPTAなどへの地域学校協働活動の広報活動とボランティア登録の呼びかけを行う。学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。本部委員、ボランティア登録者と学校との意見交流会を実施する。 また、活動の様子を不定期で広報誌に掲載するとともに、引き続きCS通信を発行し各種SNSで発信する。 2022年度からCSIに係る経費を集約して計上。
--	--

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

郷土資料を収集・保管・展示をすると共に、体験学習等の普及活動をととして町の文化・歴史を後世に伝える事を目的に運営されている。  
 開館20年を過ぎた事から、展示機器や施設設備に経年劣化が見られたり、展示の掲載内容が古くなっているものが見られるため、計画的に更新していく必要がある。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域の資料館に求められる機能を充実させられるよう取り組んでいく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	193,504	202,707	204,163	0	39,292	366,000
		一般財源	円	18,505,568	5,448,354	5,654,782	4,253,005	4,500,788	6,358,000
	事業費計(A)		円	18,699,072	5,651,061	5,858,945	4,253,005	4,540,080	6,724,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1221	0.1169	0.1226	0.2118	0.1267	
人件費計(B)		円	949,885	911,581	983,062	1,681,146	986,963		
トータルコスト(A+B)		円	19,648,957	6,562,642	6,842,007	5,934,151	5,527,043		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

体験型資料館としての特色を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供することで、郷土の歴史や文化に対する理解を深めてもらう事を目的としている。  
 事業のマンネリ化が課題となっている。ものづくり体験については、どこでも出来るような工作ではなく、ふるさと歴史館らしさのあるメニューを用意できるよう工夫していく必要がある。  
 なお、2021年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年実施している体験型イベント「ねんりんフェスティバル」を中止し、代替事業として、歴史館に関係する動画配信を行っている。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町の歴史・文化に興味を持ってもらえるような事業プログラムを検討・実施し、入館者の増加につなげていく。  
 町の歴史・文化を学ぶ施設として、収蔵資料の保存・管理とともに、特別展の開催など、収蔵資料の活用を図る。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	366,578	369,152	380,449	389,468	376,718	377,000
		一般財源	円	3,062,216	3,141,638	3,200,019	3,277,273	2,984,253	3,106,000
		事業費計(A)	円	3,428,794	3,510,790	3,580,468	3,666,741	3,360,971	3,483,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0661	0.0706	0.0786	0.1544	0.1248	
人件費計(B)		円	514,229	550,535	630,250	1,225,538	972,163		
トータルコスト(A+B)		円	3,943,023	4,061,325	4,210,718	4,892,279	4,333,134		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	家庭教育学級活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

各家庭教育学級への支援(補助金の支出と学習内容に関する助言)と、家庭教育をテーマとした講演会等を開催している。働く母親が増え、学級生の人数減少や役員のなり手不足など、家庭教育学級単体での活動が難しくなっている学級もある。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

親同士のつながりだけでなく、学校や地域と連携した活動が重要となっていくため、学校や地域と連携して地域全体で子育てができる環境を整備する。2021年度から、開設条件に各家庭教育学級における地域学校協働活動の実施を追加した。  
 他に各家庭教育学級へのニーズ調査を行い、現状の支援内容が適切であるかどうか見直しを行う。  
 新型コロナウイルス感染症の影響により家庭教育講演会が令和2年度から中止となっているため、コロナの状況ではオンライン開催も踏まえ、実施に向け検討する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	333,504	335,566	328,536	35,000	88,788	357,000
		事業費計(A)	円	333,504	335,566	328,536	35,000	88,788	357,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人工数(業務量)		人工	0.0613	0.0788	0.1094	0.0254	0.0591		
人件費計(B)		円	476,887	614,479	877,218	201,610	460,375		
トータルコスト(A+B)		円	810,391	950,045	1,205,754	236,610	549,163		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	芽室町PTA連合会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

PTA連合会への活動費の助成。  
会の活動内容は、道内・管内各種研修会への参加、視察研修の実施、研究大会・役員交流会などの開催。  
なお、2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況により、補助金支出の事業の実施がなかったため年度途中に町補助金を返戻。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

教育効果を高めるため、活動内容の見直しを行ったので、今後の活動状況を見守っていく。  
過去2年間、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって事業縮小・中止が続いている、社会情勢を捉えつつ、安全面に配慮した会の運営を支援していく。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	477,625	414,801	437,315	38,874	86,166	490,000
		事業費計(A)	円	477,625	414,801	437,315	38,874	86,166	490,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人工数(業務量)		人工	0.0116	0.0177	0.0042	0.0076	0.0076		
人件費計(B)		円	90,243	138,024	33,677	60,324	59,202		
トータルコスト(A+B)		円	567,868	552,825	470,992	99,198	145,368		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	学習活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

知識や経験のあるものを生涯学習推進アドバイザーに委嘱し、社会教育の各分野において直接指導・助言等を行う。

主に、高齢者学級「めむろ柏樹学園」の運営や、青少年健全育成のための活動などを担う。生涯学習推進アドバイザーとして知識や経験のある方を雇用するのが難しくなっている。

芽室町総合情報誌「すまいる」に町の教育情報を掲載し、教育・スポーツ・公民館・図書館に係る情報を発信する。

活字離れが進む一方で、紙媒体を好む世代もいるので、幅広い世代に情報発信していくためには工夫が必要である。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

アドバイザーについては、良い人材を集めるための工夫が必要。

アドバイザーのうち、CSコーディネーターを兼ねる職員に係る経費については、今年度からコミュニティ・スクール運営事業に計上。

力を入れて発信すべきところと、削減できるところを見極め、限られた予算の中でメリハリをつけた誌面構成にする。QRコードの活用をし、伝えたい内容を絞りHPと連携した紙面構成をして読みやすい文章を作成する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			467,000	724,000	555,000	
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円			935,501	768,867	1,132,504	777,000
		一般財源	円			9,484,388	7,435,335	10,972,577	8,291,000
		事業費計(A)	円			10,886,889	8,928,202	12,660,081	9,068,000
人件費	正職員従事人数	人			4	4	4	4	
	人工数(業務量)	人工			0.1527	0.2985	0.0434		
	人件費計(B)	円			1,224,417	2,369,320	338,076		
		トータルコスト(A+B)	円			12,111,306	11,297,522	12,998,157	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	郷土芸能メモオロ太鼓保存会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

町の郷土芸能であるメモオロ太鼓を保存・継承するため、開町80周年を機に結成された郷土芸能メモオロ太鼓保存会に対して、継続して支援を行う必要がある。  
 会員数が減少しており、それに伴い、予算規模・会の活動の縮小化をせざるを得なくなっている。会員(打ち手)の減少や指導者の確保などの課題が継続している。  
 温水プールの改築と総合体育館一帯の施設再整備のため、2022年3月に活動場所を芽室町勤労青少年ホームから芽室町中央公民館に移した。

[2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法]

会の運営がスムーズに進むよう、また、会員の確保に向けての助言を行っていく。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	82,920	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	82,920	0
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0011	0.0008	0.0016	0.0005	0.0091	
		人件費計(B)	円	8,558	6,238	12,830	3,969	70,887	
トータルコスト(A+B)		円	8,558	6,238	12,830	3,969	153,807		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	勤労青少年ホーム維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	温水プール改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討		公約達成年次 2022年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を目的として、勤労青少年の活動拠点及び社会教育施設として施設を維持管理していたが、近年は勤労青少年や青年団体の活動利用はなく、適応指導教室ゆうゆうや郷土芸能ムムオロ太鼓保存会の活動、隣接する体育施設の補完施設として利用されていた。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

温水プールの改築と総合体育館一帯の施設再整備として令和4年度から勤労青少年ホームの改修工事が始まり、令和5年度からスポーツ振興のトレーニング室などとして供用開始される。  
勤労青少年ホームとしては、令和3年度末で廃止。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	46,200	49,590	9,100	2,900	29,130	
		一般財源	円	1,825,496	2,011,106	2,077,737	2,808,143	4,146,549	0
		事業費計(A)	円	1,871,696	2,060,696	2,086,837	2,811,043	4,175,679	
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.0119	0.0043	0.0096	0.0039	0.0077	
		人件費計(B)	円	92,577	33,531	76,977	30,956	59,981	
		トータルコスト(A+B)	円	1,964,273	2,094,227	2,163,814	2,841,999	4,235,660	



2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	芸術・文化振興支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	「一流」を見て、聴いて、学ぶ		公約達成年次 2020年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

芸術・文化活動の振興を目的とし、小中高生が芸術・文化活動において上位大会等へ出場する機会を得た場合の経済的な負担の軽減を行う。また、芽室町文化協会、文芸誌編集委員会、めむろ子どもと人形劇を楽しむ会への補助を行う。  
 所属団体・加入会員数が減少傾向にある文化協会への活動支援を中心に、町全体の文化活動が盛んになるよう支援していく必要がある。  
 なお、2021年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による文化協会事業の縮小に伴い、年度途中で町補助金の一部を返戻。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

文化協会としても意欲的に取り組んでいただく必要はあるが、協会役員の相談に乗りながら、会が活発に活動していけるよう支援していく。  
 芽室文芸においては、2022年度以降の編集・発行元が文化協会から編集委員会に変更した。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	386,943	1,382,229	2,196,893	707,807	1,644,158	1,506,000
		事業費計(A)	円	386,943	1,382,229	2,196,893	707,807	1,644,158	1,506,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
	人工数(業務量)	人工	0.0592	0.0676	0.0928	0.0819	0.0934		
	人件費計(B)	円	460,550	527,142	744,112	650,075	727,564		
	トータルコスト(A+B)	円	847,493	1,909,371	2,941,005	1,357,882	2,371,722		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-2-1

事務事業名	芸術鑑賞会等開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

**〔事業の概要・現状・課題〕**  
 町民に対して、音楽や伝統芸能、演劇などの芸術に触れる機会を提供するために、その分野のプロ(専門家)を招いて文化芸術鑑賞会を開催する。  
 演目の選定については、2015年度から町民の委員による内容検討会議を、また、2019年度から実行委員会に変更し、幅広い年代の町民から意見をもらうことで、町民のニーズに合った鑑賞会を実施している。  
 2021年度の芸術鑑賞は、前年度新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した、札幌交響楽団による公演と小中学生に対するクリニックを実施。

**〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕**  
 ・2015年度から実施してきた「内容検討会議」を2019年度から「実行委員会」に変更し、委員には芸術鑑賞会の演目選定だけでなく運営にも携わってもらう。運営に携わってもらう中で、今後の実施主体の検討も行うこととする。  
 ・「一流を見て・聴いて、学ぶ」機会を提供するため、2020年度から3年に1度予算を増額し、一流の演者の招聘を行う。また、2021年度開催の芸術鑑賞会から、高校生以下の入場料を無料とする。  
 ・鑑賞会の周知方法やチケットの購入方法等、入場者数増加の工夫を検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	236,500	708,000	764,000	100,000	2,910,000	620,000
	一般財源	円	852,551	795,605	1,405,365	74,267	3,646,238	1,271,000
	事業費計(A)	円	1,089,051	1,503,605	2,169,365	174,267	6,556,238	1,891,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.2314	0.2527	0.1705	0.1124	0.0839	
	人件費計(B)	円	1,800,191	1,970,542	1,367,146	892,166	653,561	
	トータルコスト(A+B)	円	2,889,242	3,474,147	3,536,511	1,066,433	7,209,799	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-1-2

事務事業名	公民館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

各種公民館講座及び自主事業などについては指定管理者が行っていることから、各種事業の企画・実施にあたり指導・助言を行う。  
 指定管理者と連絡を密にとり、町民のニーズにマッチした公民館運営を心がける。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

指定管理者の事業提案を踏まえたうえで、公民館講座や企画展示、自主事業などの各種事業への指導・助言を行う。  
 新型コロナウイルスにより事業の延期や中止は起きているが、指定管理者の経験を生かした企画が出てきている。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0384	0.0368	0.0014	0.0046	0.0683	
		人件費計(B)	円	298,735	286,965	11,226	36,512	532,041	
		トータルコスト(A+B)	円	298,735	286,965	11,226	36,512	532,041	

事務事業名	公民館施設維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化	公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 町民が生涯学習に取り組むことにより、心豊かな地域社会が実現し、住みよい地域づくりにつながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 開館日数	日
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町民数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 公民館の利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	%
② 文化活動がしやすいと思う住民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	2,835,798	6,933,447	5,614,190	2,213,026	6,121,721	2,755,000
	一般財源	円	38,590,876	73,944,838	42,795,501	49,208,980	49,347,581	44,363,000
	事業費計(A)	円	41,426,674	80,878,285	48,409,691	51,422,006	55,469,302	47,118,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1128	0.1488	0.1695	0.1660	0.1705	
	人件費計(B)	円	877,535	1,160,335	1,359,127	1,317,612	1,328,155	
	トータルコスト(A+B)	円	42,304,209	82,038,620	49,768,818	52,739,618	56,797,457	
活動指標	①	日	352	352	352	315	284	352
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,660	18,540	18,430	18,268	18,117	18,117
	②							
	③							
成果指標	①	人	84,908	77,037	75,786	40,483	48,162	48,162
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	39.1	38.4	75.4	80.0	76.0	76.0
	②	%	42.2	41.6	74.3	77.4	73.0	73.0
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。 2022年度から教育支援センター「ゆうゆう」とめむろ町民活動支援センターが公民館に移転した。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 施設管理にあたり、長寿命化計画を作成するなど、中長期的な視野に立ち施設修繕等を行う。
--	---

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-1-2

事務事業名	高齢者学級「柏樹学園」開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	高齢者等活き活き推進事業	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		

〔事業の概要・現状・課題〕

65歳以上の町民を対象に、年間を通じた学習プログラムを作成し、提供し、生きがいのある豊かな人生を送ってもらう。  
 月に1～2回程度の通常の学習日には、午前は学習(講演)、午後は実技(クラブ活動)を行う。その他、修学旅行や学園祭などの行事も行う。

課題として、徐々に参加人数が減少してきていることから、参加者の確保に努めたい。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

令和元年度から令和3年度の間、農村部の学園生に対し冬期間の登園手段確保対策としてバスの借上をしていたが、利用人数が少ないことから費用対効果を鑑み、バス借上ではなく交通確保対策助成金で対応する。また、学習活動の充実を図りながら学園生による勧誘などを行っていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	540,000	404,000	378,000	332,000	308,000	320,000
	一般財源	円	800,324	1,061,635	1,185,129	1,120,696	1,006,577	1,539,000
	事業費計(A)	円	1,340,324	1,465,635	1,563,129	1,452,696	1,314,577	1,859,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0834	0.0475	0.0369	0.0827	0.0318	
	人件費計(B)	円	648,816	370,403	295,881	656,425	247,715	
トータルコスト(A+B)		円	2,137,730	1,836,038	1,859,010	2,109,121	1,562,292	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

事務事業名	災害復旧事業(社会教育施設)	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

災害により被害を受けた社会教育施設の復旧のための経費を計上。  
 集団研修施設かつこう、ふるさと歴史館ねんりん、雄馬別・坂の上地域体育館、芽室町図書館の倒木処理、及び損壊した栄地域グラウンド物置の事業系廃棄物処理を行った。

[2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法]

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	802,477	0
	事業費計(A)	円					802,477	
人件費	正職員従事人数	人					9	
	人工数(業務量)	人工					0.0083	
	人件費計(B)	円	0	0	0	0	64,655	
	トータルコスト(A+B)	円	0	0	0	0	867,132	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	社会教育委員会運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

事業概要と現状

社会教育委員が社会教育に関し教育委員会に助言するため、下記の職務を行う環境を整える。

- ①社会教育に関する諸計画を立案すること
- ②定時または臨時の会議で教育委員会の諮問に応じて意見を述べること
- ③これらのために必要な研究調査を行うこと

町民の中で「社会教育委員」の認知度が低い状況にある。社会教育委員の役割の周知や地域学校協働活動などへの参加も含め、社会教育委員活動の「見える化」を進めていく。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

実践する社会教育委員として、各社会教育事業等へ参加してもらい、社会教育事業への意見や提案を活発にもらえるように環境を整えたい。

2023年5月末で社会教育委員が任期満了となることから、新たな委員を選任する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	931,986	706,108	705,152	266,150	297,204	978,000
		事業費計(A)	円	931,986	706,108	705,152	266,150	297,204	978,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人工数(業務量)		人工	0.3963	0.1417	0.3319	0.1837	0.1534		
人件費計(B)		円	3,083,042	1,104,970	2,661,323	1,458,104	1,194,950		
トータルコスト(A+B)		円	4,015,028	1,811,078	3,366,475	1,724,254	1,492,154		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	社会教育協会連絡協議会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

単位社会教育協会に対して活動助成金を交付する等の支援を行うほか、連絡協議会の事業として視察研修や地域づくり研修会を開催し、単位社会教育協会同士の交流や情報交換の機会を提供している。  
 農村保育所の閉所にもない、単位社会教育協会と農村保育所合同で行われていた地域の運動会が実施されなくなったことに加え、地域での会員戸数の減少や少子高齢化の影響で活動規模の縮小を進めている協会が増えてきており、年間の行事が総会と環境整備のみとなってしまう協会もある。  
 なお、2020年度・2021年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、役員の視察研修会及び地域づくり研修会が中止となっていることから、年度途中で社会教育協会連絡協議会補助金を一部返戻している。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

連絡協議会の事業として日帰り・一泊二日の視察研修会を交互に隔年で実施している。視察研修会については、地域の活動をより充実させるために学習・交流の機会を提供するほか、各協会で会長等役員を担当している方への慰労を兼ねてこれまで実施されてきたが、視察研修会という学習スタイルについて、時代に即しているか疑問であり見直すべきとの意見があり、新年度組織においてR4年度以降の実施について協議を進めようとしている。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	855,300	696,235	855,300	630,007	624,537	842,000
		事業費計(A)	円	855,300	696,235	855,300	630,007	624,537	842,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
	人工数(業務量)	人工	0.0565	0.0740	0.0755	0.0603	0.0551		
	人件費計(B)	円	439,545	577,048	605,393	478,626	429,216		
	トータルコスト(A+B)	円	1,294,845	1,273,283	1,460,693	1,108,633	1,053,753		



2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	旧集団研修施設「かつこう」維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

廃校となった美生小学校校舎を再利用し青少年の活動拠点として整備された施設であったが、町民の利用が減少していること、及び施設の老朽化による維持管理費が高額であること、更に、社会教育事業の推進において本施設を活用した事業等の計画の見通しを立てていない状況であることなどから庁内で検討した結果、2021年度末で社会教育施設としての供用を終了し、普通財産へ移行した。

[2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法]

大乃国資料室については移転先が決定するまで現在の場所で引き続き見学可能となっており、隣接するふるさと歴史館ねんりんにて受付を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	578,050	541,200	534,850	177,550	187,200	0
		一般財源	円	6,072,755	7,146,690	5,807,999	7,498,593	6,384,277	346,000
		事業費計(A)	円	6,650,805	7,687,890	6,342,849	7,676,143	6,571,477	346,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1378	0.1369	0.1725	0.2089	0.1522	
人件費計(B)		円	1,072,024	1,067,540	1,383,182	1,658,127	1,185,602		
トータルコスト(A+B)		円	7,722,829	8,755,430	7,726,031	9,334,270	7,757,079		

事務事業名	少年教育活動運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	ジモト大学の積極的推進	公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メモオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむる夏・冬、奈井江町児童生徒との標語作品交流、ジモト大学
2. 対象(何を対象にしているか) 芽室町内在住の児童・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 各種体験活動や研修事業をとおして、児童生徒の豊かな心の育成を図る。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 事業参加者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 児童生徒のうち事業に参加した者の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円			467,000			
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	444,580	563,382	442,210	378,715	409,854	642,000
	一般財源	円	1,622,409	2,042,334	1,712,983	4,169,384	4,412,335	3,116,000
	事業費計(A)	円	2,066,989	2,605,716	2,622,193	4,548,099	4,822,189	3,758,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.6286	0.5953	0.5262	0.6722	0.6980	
	人件費計(B)	円	4,890,235	4,642,121	4,219,308	5,335,534	5,437,257	
	トータルコスト(A+B)	円	6,957,224	7,247,837	6,841,501	9,883,633	10,259,446	
活動指標	①	回	9	9	9	4	7	10
	②							
	③							
対象指標	①	人	1,836	1,805	1,751	1,719	1,672	1,591
	②							
	③							
成果指標	①	人	408	451	344	102	122	335
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	22.2	25.0	19.6	5.9	7.3	21.1
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。 集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。 2019年冬以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた事業で中止となったものもある。	2. 今後の取組 (2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法) 芽室ジモト大学については、次世代の人材育成、郷土愛の醸成及び地域コミュニティの活性化を目的として、町内中学・高校及び地域住民と連携し、参加生徒の興味関心に応じた多様なプログラムの実施を目指す。 その他の事業についても、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施について検討していく。 今年度、地域おこし協力隊に係る経費のうち、CSコーディネーター分については、コミュニティ・スクール運営事業に計上。
--	---

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

事務事業名	新型コロナウイルス対策社会教育事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の感染防止対策等については今後も必要とされる。

新型コロナウイルス感染症対策として、町営野球場屋外トイレの洋式化を繰越事業で実施。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

公民館に新型コロナウイルス感染症予防用のパーテーションを購入する。また、新型コロナウイルス感染防止策として公民館展示ホールに網戸を設置し、図書館トイレの改修工事を行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円				7,315,000	6,267,727	2,311,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	219,795	261,873	0
	事業費計(A)	円				7,534,795	6,529,600	2,311,000
人件費	正職員従事人数	人				8	7	
	人工数(業務量)	人工				0.0318	0.0210	
	人件費計(B)	円	0	0	0	252,410	163,585	
トータルコスト(A+B)		円	0	0	0	7,787,205	6,693,185	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	青少年健全育成協議会支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

町民集会の開催、PTA連合会との合同研究大会の開催、街頭巡視活動、広報誌の発行、3つの心運動の推奨に係る取組。課題として、会の構成団体の減少などがある。また、他の団体との活動内容の類似するものがある。

「子ども110番の家」の依頼・旗の設置に関わる業務については、2021年度から環境土木課に移管。2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会や第1回役員会、合同専門委員会を书面開催し、町民集会を休止。

なお、会員にアンケートを実施し、会の活動内容の見直しを行った。2021年度から、専門委員会の体制を指導育成委員会、健全育成委員会、広報調査委員会の3体制から指導育成・健全育成を合併した(新)健全育成委員会、広報調査委員会の2専門委員会へ見直した。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

2022年度以降の町民集会については、PTA連合会と連携して開催する。また、今年度から新たに「SDGsの理念」を推進する取組として、3つの心運動のポスター、標語の募集について「SDGs」の周知に係る内容も含めて募集する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	585,000	610,000	547,405	377,744	348,402	585,000
		事業費計(A)	円	585,000	610,000	547,405	377,744	348,402	585,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人工数(業務量)		人工	0.0115	0.0153	0.0335	0.0406	0.0101		
人件費計(B)		円	89,465	119,309	268,618	322,259	78,677		
トータルコスト(A+B)		円	674,465	729,309	816,023	700,003	427,079		



2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-1-2

事務事業名	地域指導者人材バンク派遣事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	「芽室町地域指導者登録制度」の再周知と指導環境の検討		公約達成年次 2020年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

人づくり・まちづくりの推進のため、職業や趣味、生活などを通して身につけた知識や技術を教える指導者を発掘し、町民向け講座や講演会、学習会などでの講師・指導者として、派遣要請のあった団体に対して紹介する。人材バンク登録者が活用されていないことから活用について考える必要がある。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状では、登録者の活躍の場は社会教育事業でのボランティアがほとんどである。2022年度にコミュニティ・スクール運営事業に統合し、地域学校協働活動に活かすため、CSコーディネーターで取りまとめている外部講師のリストと一本化する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費		正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0078	0.0022	0.0001	0.0001	0.0021	
		人件費計(B)	円	60,681	17,155	802	794	16,359	
		トータルコスト(A+B)	円	60,681	17,155	802	794	16,359	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	中学生国際交流事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	国際、地域間交流の推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

アメリカ・トレーシー市との交流のため、6月にトレーシー市からの訪問団受入および3月に本町の中学生10人をトレーシー市へ派遣している。  
 2019年度以降のトレーシー市への訪問団派遣、および2020年度以降のトレーシー訪問団来町については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。  
 訪問団の相互派遣が3年続けて中止となっているため、トレーシー市との交流や訪問団員への応募などトレーシーについて身近に感じられないことも考えられる。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

引き続き相互派遣交流を実施に向け、トレーシー市姉妹都市協会と連絡を取り合う。  
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を受け、2022年6月のトレーシー訪問団受入は中止となった。今年度のトレーシーへの中学生派遣については、新型コロナウイルスの状況を見ながら可否を決定する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	780,540	779,640	0	0	0	0
		一般財源	円	3,430,744	3,641,037	1,211,796	56,518	0	0
		事業費計(A)	円	4,211,284	4,420,677	1,211,796	56,518	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.3877	0.3316	0.2529	0.0093	0.0031	
人件費計(B)		円	3,016,137	2,585,801	2,027,866	73,818	24,148		
トータルコスト(A+B)		円	7,227,421	7,006,478	3,239,662	130,336	24,148		

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-1-2

事務事業名	二十歳を祝う会開催事業		所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約				公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業			

〔事業の概要・現状・課題〕

成人を対象とする式典の実施、出席者全員での記念写真の撮影、中学校時代の恩師らと交えた交流会を開催している。  
 民法が定める成年年齢が、令和4年度から18歳に引き下げられることとなり、現在20歳に達する年度の1月に実施している成人式について、対象者や実施時期について検討し、民法改正後も20歳に達する年度で式典を開催することとした。  
 そのため、2023年1月開催から二十歳を祝う会と名称を変更し、開催する。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

芽室町に愛着を持ってもらえるような企画の実施。  
 →令和3年度から毎年、町内3中学校の中学3年生在籍時に、5年後の自分へメッセージを作成して写真を撮影。それを動画編集し、5年後の式典で上映する企画を、町内中学校3校に提案し、実施中。  
 成人年齢引き下げにより、式典の名称の変更。  
 芽室町として、令和4年度以降の式典の対象年齢は現在と同様に20歳を対象にする事を決定した事に伴い、名称が変更する事を令和3年10月に周知した。今年度は改めて広報、SNSにて「二十歳を祝う会」として開催することを町民に周知する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	202,577	188,986	211,584	0	263,006	230,000
		事業費計(A)	円	202,577	188,986	211,584	0	263,006	230,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0524	0.0560	0.0393	0.0195	0.1254	
人件費計(B)		円	407,649	436,685	315,125	154,780	976,837		
トータルコスト(A+B)		円	610,226	625,671	526,709	154,780	1,239,843		



2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護管理事務	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

文化財保護法に基づき、土木工事等を実施する際の埋蔵文化財保護のための事前協議に対する調査・回答を行う。  
必要に応じて、工事の立会いも行う。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

事前協議や事前相談に対する調査・回答は、北海道教育委員会が発行する「土木工事等に伴う埋蔵文化財保護の流れ」に沿って対応する。調査にあたっては専門的な見地からの判断が求められることから、学芸員(考古学)の資格を持つ職員に協力を依頼する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0164	0.0326	0.0290	0.0711	0.0226	
	人件費計(B)	円	127,585	254,213	232,535	564,351	176,049	
	トータルコスト(A+B)	円	127,585	254,213	232,535	564,351	176,049	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

文化財の保存及び活用のため、文化財保護審議会を開催する。  
 芽室町は芽室公園のカシワのみ対象となっている。  
 審議会開催に合わせて、管内の歴史館、博物館等への視察見学を行っている。  
 2022年3月末で文化財保護審議会委員が任期満了となることから、委員を募集し、2024年3月末までの委員5名を選任した。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

議題について、ふるさと歴史館ねんりんについても、今後論議してもらうなどして、会議の活発化を図る。  
 2021年度開催の審議会でも西土狩神社の絵馬について議題に挙げたため、2022年度開催の審議会でも協議する予定。  
 2022年度は芽室公園内のカシワ案内板の老朽化に係る修繕を実施する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	14,976	18,350	15,050	14,458	11,158	97,000
		事業費計(A)	円	14,976	18,350	15,050	14,458	11,158	97,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0307	0.0217	0.0106	0.0175	0.0199	
		人件費計(B)	円	238,833	169,216	84,996	138,905	155,016	
		トータルコスト(A+B)	円	253,809	187,566	100,046	153,363	166,174	

2022年度（2021年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

2-2-1

事務事業名	文化賞等授賞式典開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

文化活動において優秀な成績・功績をおさめた町民の個人及び団体に対し年1回春に授賞式典を開催。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2019年度から2021年度までについては授賞式典を中止。

〔2022年度及び2023年度以降の方向性・課題の解決方法〕

昨年度、文化賞等の表彰基準について規則の見直しを行った。今後も必要に応じ、見直しを検討する。

		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	115,736	158,251	182,506	42,878	108,273	235,000
	事業費計(A)	円	115,736	158,251	182,506	42,878	108,273	235,000	
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0586	0.0960	0.0664	0.0333	0.0425	
人件費計(B)		円	455,883	748,603	532,425	264,316	331,065		
トータルコスト(A+B)		円	571,619	906,854	714,931	307,194	439,338		